



## 記念すべき、第60号！

なんと、今号で60号となりました。ここまで続けてこられたのもたくさんの方々の応援、協力があったからです。本当にありがとうございます！これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。

新体制で始まった2017年。保育室の雰囲気も一新し、新たな風が吹いてきています。手探り状態の担任教師2人ですが、今までパトリシアの助手をしてきたマリエッタ（前号59号で特集しています。上部写真中央）が**独り立ちできるようにすること**が来年までの大きな目標です。マリエッタは休学していた大学に戻り、日中は保育園で働き、夜に大学に行くという、忙しい日々をまたスタートさせました。彼女は新しいことを覚えるのが苦手で、自分のペースで、少しずつ、一步一步前に進んでいきます。傍で見ている私たちには「この間も言ったのに…」「今はそれをやる時間じゃない…」「放任ではなく、ちゃんと見守って！」と、手や口を出したくなる場面が本当に多いです。そんな時、彼女にどのように伝えたいのだろうか、どう話したらもっと自分の考えで動いてくれるようになるだろうか、など、日々試行錯誤を繰り返しながらの毎日です。

私たちの活動は、保育園や学童教室を運営するだけではありません。**地域を育てていく。その環境を整える。**それも大きな役割の一つです。だからこそ、一緒に働くスタッフは地域住民の中から…と、今までも養成講座を実施し、人材育成に力を入れてきました。まずは**マリエッタ自身が自分に自信を持てるようにすること**。そして、自分の意見をしっかりと持ち、子ども達やその家族に対して取り組んでいくこと。まだまだ時間はかかります。それでも、共に成長していく仲間として、歩んでいきたいと思えます。どうか皆様、引き続き温かく見守り、応援していただけますよう、お願いいたします！

### 世界へ羽ばたく! 「光の子どもたちの会」卒業生

今回は「光の子どもたちの会」の保育園で働く、2人のスタッフのエッセイをご紹介します。  
彼女たちの旅立ちと決意。これからも「光の子どもたちの会」は応援していきます。

翻訳: 鈴木真由美

マリーザ・バチスタ  
・ダ・シウバ

(Mariza Batista da Silva)



私はマリーザ・バチスタ・ダ・シウバです。現在21歳。美しい自然、海や漁船観光、パラグライダー、素晴らしい夕日、そして、人々の温もり。今では世界的に有名な観光地となったカノア・ケブラーダ地区にある、小さな漁村(エステーヴァン村)で生まれました。

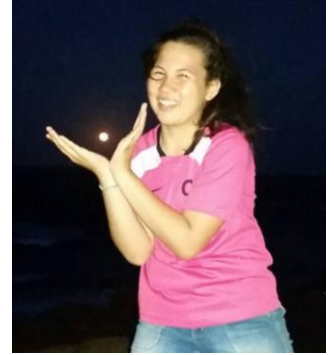
2014年1月、学業と仕事のためにフォルタレーザ(エステーヴァン村が所在する都市)に上京しました。街でどう暮らしているのか分からず、近所の人を一人も知らない。知っているのは私のおばイゾウダとその2人の息子ジョアン・マルコスとサムエル・ルーカスだけ。初めのうちは本当に大変でした。その数ヶ月後、私は事務所で働き始めました。13ヶ月間働きながら受験勉強をしていました。その合間を縫って、カノア・ケブラーダでお祭りやカーニバル、フェスタ・ジュニーナや帆船レースがあると、家族のもとを訪れました。そして私自身にも新しい友人ができ、大きな街にも慣れてきました。観光スポットである、歴史遺産やエンターテイメントを知っていく中で、マラカトウ(黒人舞踊)のReis de paus (ヘイス・ジ・パウス)というグループを知り、そこに参加して2年になります。

2015年8月に奨学金を得て、1年間の短期コースですが、ANOR DEVRV(ブラジル北東部の大学)でホテル観光学を学び始め、2016年8月に卒業しました。それは私にとってとてもうれしく、新しい人々との出会いや専門職を得た喜びで一杯です。

2016年11月からレストランで働くようになり、残念ながらあまり家族に会いに行く時間がありません。というのも、私の休暇は不定期で、まとまった休みが取れないのです。だから今、友達や家族に会えないことがとても淋しいです。ただ、インターネットなどを通じていつでもコミュニケーションができるので助かっています。フォルタレーザに住むようになって3年と5ヶ月が経ちました。今ではここがとても好きです。それでもやっぱり、生まれ故郷のことは忘れられません。

鈴木 美莉亜

(すずき みりあ)



鈴木美莉亜です。中学1年生になりました。日本とブラジルで生活する中で感じたことなど、少しお話ししたいと思います。

日本とブラジルでは、たくさん違うところがあります。まず、日本の学校には部活があるのに、ブラジルではありません。そもそもブラジルの学校は朝7時~11時までという午前しか授業がありません。だからブラジルでは学校の友達は学校にいるときだけ一緒に過ごす。それ以外は家の近所の友達(親戚が多いですが)と遊んでいます。日本では学校だけでなく、一緒に出かけたりと、親戚以外の友達がたくさんいます。

私は日本にいるとき、自転車が好きなのに出かけることが大好きです。でもブラジルでは、というより私が住んでいるカノアでは、観光地ということもあり、たくさん知らない人がいるので自転車でもどこかに一人で出かけるなんてことはできません。でも、海の近くに住んでいるので、サーフィンができるし、学校でもどこでもサッカーができるので楽しいです。日本ではみんな、スマホでゲームをしたりして、サッカーなど、体を動かして一緒に遊んでくれる人はほとんどいません。でもカノアではスマホを持っている子どもがあまりいないので、一人に「遊ぼう!」と声をかけると、たくさん集まってみんなで遊んだりします。

日本とブラジルにはたくさん違うところがあるけど、どちらもとてもいいところで、大好きです。皆さんもぜひ、ブラジルに遊びに来てください。カノアが一番おすすめです!

# 今、ブラジルにいます！ \* Estou em Brasil AGORA!

こんにちは。谷村祥子と申します。2009年に初めてカノアに行き、1か月ほど学童保育でお世話になりました。その後、日本で国内スタッフとして活動に携わらせていただきました。現在は、パラ州ベレン市にある小学校にて、JICAボランティアとして活動しています。

初めてブラジルに来たのは、もう8年半前のこととなります。それから私はずっと、「ブラジルにもう一度行きたい！」と思い続けてきました。それは、カノアに住んでらっしゃるみなさんはもちろんのこと、光の子どもたちの会の活動をとおして出逢ったブラジル関係のみなさんに魅了されたからです。カノアには4回訪れましたが、私がカノアに滞在した期間は合わせて3か月にも満たない短いものです。それに、私はブラジルのカノア以外の他の地域にはほとんど行ったことがないに等しい状態だったので、ブラジルのことをほとんど知りませんでした。ですので、この会のイベントで様々な素敵な方たちに出逢うたび、「こういう素晴らしい方たちが育った／住んでいたブラジルはどんなところなんだろう？もっと知りたい！」そういう思いが募っていきました。その結果が、今です。

パラ州は、ブラジル国内で3番目に日系人が多く住む地域です。私が住む地域は、日系人の大きな団体があり、道でも日系人の方とよくすれ違っています。カノアとは全然違う“ブラジル”です。カ

ノア以外をほとんど知らなかった私にとっては、本当に興味深いです。でも、ここに私を導いてくれたのは、カノアです。この街がどれだけ好きになっても、ブラジルでの私の心の故郷はカノアです。光の子どもたちの会との出逢いに感謝をしつつ、残りのブラジルでの任期を精一杯頑張りたいと思います。



谷村 祥子

「光の子どもたちの会」運営スタッフ。(写真左)

## 子育て日記より

昨年から感じていたことですが、小学生と中学生。身体が成長しているだけでなく、雰囲気や話し方、お互いに対する接し方が大きく変わっているような気がしています。友達との関係も、中学生では今までよりももっと密になっているようで、ブラジルにいても日本の友達といつも連絡を取っています。「ネットいじめ」という言葉を聞いたことがあり、娘に対しても短い文章では伝えきれないことがたくさんあるから、本当に大切なことはちゃんと面と向かって話をしなさい、といつも言っているのですが、何せブラジルと日本。簡単にできるものではありません。そこは我が娘。相手に電話で話せる時間を聞き、ビデオ通話で話すという、なんとも現代的な解決方法を見出していました。

この先、今まで以上に親として娘たちの友達のことを知らない…ということになっていくでしょう。それでも、いつも娘たちと話す時間を作り、彼女たちの話に耳を傾けるようにしていこうと思います。まあ、我が娘たちはおしゃべりなので、いつも耳をふさぎなくなるほどですが(笑)

# 総会\*Assembléa Geral

2017年3月5日に毎年恒例となりましたJICA横浜での「光の子どもたちの会」総会を行いました。2015年に法人格を取得し「特定非営利活動法人 光の子どもたちの会」となってから2回目の総会です。代表の鈴木真由美及びスタッフより、活動報告がありました。昨年度は、今まで現地の幼稚園や学童教室で育ってきたスタッフが学業や進学を理由に抜けてしまい、会にとっては新たな局面を迎えていると代表鈴木から話がありました。また平成28年4月から始まったJICA草の根技術協力事業の実践報告もありました。今回の事業は、「ブラジルセアラ州アラカチ市における、人材育成を通じた地域子育て支援プロジェクト」として、アラカチ市において研修によってトレーナーを育成し、最終的には養成されたトレーナーがライフスキル担当教員、地域子育てネットワークリーダーを育成、学校現場や地域で子どもたちを守る活動を展開することを期待しています。国内活動では、よこはま国際フェスタへの参加や、料理教室を行いました。今年度も引き続き、それらの活動を継続していく予定です。また、昨年エステーヴァン村に滞在した東海大学の萬羽幸子さんより現地滞在の報告がありました。総会には懐かしい顔ぶれの参加もあり、久しぶりの再会に話に花が咲きました。来年の3月末にも横浜にて総会を行う予定ですので、ぜひ会員の皆様の参加をお待ちしております。(川原翼)

## 活動計算書

2016年 1月 1日 ~ 2016年 12月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	135,000	135,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	2,616,428	
学資支援費	0	
修繕支援金	16,900	
サッカー支援金	0	
音楽支援金	0	2,633,328
3. 受取助成金等		
LUSHジャパン	0	
日本国際協力財団	648,400	648,400
4. 事業収益		
物品販売	144,093	
JICA草の根技術協力型	1,342,000	1,486,093
5. その他収益		
受取利息	4	4
経常収益計		4,902,825
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	833,265	
人件費計	833,265	
(2) その他経費		
保育園事業	36,709	
音楽支援事業	0	
施設維持費	82,243	
学資支援費	0	
LUSHジャパン	402,644	
日本国際協力財団	502,246	
JICA草の根技術協力事業	2,989,000	
その他経費計	4,012,842	
事業費計		4,846,107
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
雑費	162,775	
その他経費計	162,775	
管理費計		162,775
経常費用計		5,008,882
当期正味財産増減額		△ 106,057
前期繰越正味財産額		489,955
次期繰越正味財産額		383,898

# 活動予算書

2017年1月1日から2017年12月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 光の子どもたちの会

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	250000	250000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1750000	1750000	
3. 受取助成金等			
日本国際協力財団	0	0	
4. 事業収益			
国際協力事業(物品販売)	100000		
子育て支援事業(JICA草の根技術協力)	4000000	4100000	
5. その他収益			
受取利息	10	10	
<b>経常収益計</b>			6100010
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1800000		
<b>人件費計</b>	<b>1800000</b>		
(2) その他経費			
教育支援事業			
保育園及び学童教室食材費	30000		
保育園及び学童教室教材費	30000		
保育園及び学童教室研修費	30000		
保育園及び学童教室施設維持費	60000		
教員養成事業(日本国際協力財団)	266154		
子育て支援事業(JICA草の根技術協)	3909084		
国際協力に関連する教育分野の普及啓発事業			
原稿・講師謝礼	40000		
会場費	5000		
雑費	5000		
国際交流事業(事業報告会等の実施)			
会場費	5000		
雑費	5000		
国際協力事業(物品販売)			
会場費	30000		
雑費	5000		
支援寄付金	100000		
<b>その他経費計</b>	<b>4520238</b>		
<b>事業費計</b>		6320238	
2. 管理費			
(1) 人件費			
<b>人件費計</b>	<b>0</b>		
(2) その他経費			
雑費	100000		
<b>その他経費計</b>	<b>100000</b>		
<b>管理費計</b>		100000	
<b>経常費用計</b>			6420238
当期正味財産増減額			△ 320228
前期繰越正味財産額			383898
次期繰越正味財産額			63670

# 国内活動＊Atividade no Japão

## ●2月5日 よこはま国際フォーラム

カノアでの活動の紹介、そして今年は元目黒区立園長井上さく子先生を招いて真由美さんとの日本とブラジルの子どもや子育てについての対談がありました。真由美さんがカノアで活動を始めた頃からお付き合いのあるさく子先生。詩作、朗読、イラスト制作も行う、とてもゆったりとした優しい空気を持った女性です。そのため会場の雰囲気もとても居心地のいいものでした。対談ではお二人の子どものお話で盛り上がりました。真由美さんは、娘ミリア・マリンの日本とカノアという大きな生活の違いにもうまく慣れる様子、姉妹でもその生活に順応するまでには違いがあることなどを話し、さく子先生はうなずきながらどんな時も子どもの持っている力を信じるのが大事だと話していました。保育士である私(藤本)にとって興味深く、時間があればもっと聞いていたい！と思わずにはいませんでした。(藤本夏実)



## ●3月25日 ブラジル料理教室

### (第13回)

メニュー：肉と野菜のサンドイッチ (Sanduiche de Carne Maluca)、ブラジル風チキンタルト(Torta de Frango)、イチゴゼリー(Gelatina com Morango)

今回は、いつも料理教室に来て下さる参加者の方々からリクエストがあった料理を、エレナ先生に教えてもらいました。今回は、ブラジルから一時帰国していた光の子どもたちの会の代表・鈴木真由美さんや子ども達も参加し、みんなでおしゃべりしながら、わいわい楽しく作りました。肉と野菜のサンドイッチもチキンタルトもブラジルの家庭料理で、レストランでは食べられない優しい味でした。デザートには旬のイチゴをたっぷり使ったゼリーを食べて、みんな大満足でした！今後もリクエスト募集中です。初めての方も大歓迎ですので、ぜひ遊びにきてください！(坂井春菜)



## ●6月25日 ブラジル料理教室

### (第14回)

メニュー：キビ(Kibe)、シイタケ入りニョッキ(Nhoque recheado com Shitake)、サラダ(Salad)、米粉ケーキ(Bolo de arroz)

ブラジルでは誰もが知ってる「キビ」を作りました。一般的な油で揚げたものと、オーブンで焼いたものの2種類の味比べをしました。シイタケ入りニョッキは一から作るのは一苦労。でも、やっぱり味は各段に美味しいですね！デザートは米粉ケーキ。エレナさんは「もう、ブラジルのお米は美味しくないから、もう食べません！」と、笑いの絶えない料理教室でした。なんとといっても、いつも参加して下さる方が持ってきてくれた手作りプリンは本当に美味しくて・・・！ブラジル料理のみならず、劇うまプリンも食べられる、お得な会となりました。(星久美子)



# ありがとうございます＊Obrigado

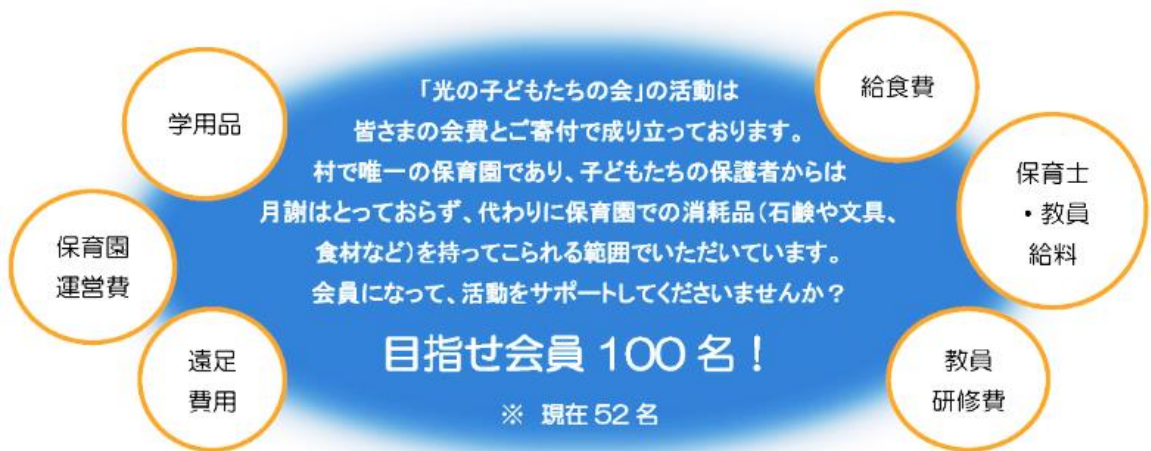
平成28年11月29日～平成29年5月31日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも一人でも多くの方に会員になって頂き、カノアの活動を共に支えていただけると嬉しいです。目標会員100名！！

## 会費及び寄付を頂きました皆様（順不同）

石田泰三さま、石田まどかさま、井上さく子さま、宇野秀郎さま、大谷タカコさま、太田朋子さま、小畑浩さま、加藤恵美子さま、神田昌実さま、桑山寛子さま、下向井稔史さま、鈴木康平さま、諏訪田あつ子さま、瀧川佐和子さま、ミサキケンジさま、村上誠さま、長谷川宏さま、福井俊紀さま、藤本くみさま、堀池眞輔さま、堀池ミツ子さま、吉川真弓さま、健司さま、村上誠さま

## 物資支援をいただきました皆様（順不同）

藤本夏実さま、三崎健司さま、横浜市立栗田谷中学校の皆さま



## 年会費（五千元）・ご寄付のお振込み方法は4つ

### 1. 自動引き落としによる振込み

自動引き落とし希望の口座のある金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行の場合は以下の(2. 郵便振替)と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振込の場合には(3. ゆうちょ銀行振込)の口座番号となりますので、ご確認ください。

### 2. 郵便振替

口座番号: 00280-1-41787

加入者: 光の子どもたち-カノアの活動を支える会

### 3. ゆうちょ銀行振込

名義: 光の子どもたちの会 店名: O二八(ゼロニハチ)  
店番号: 928 普通預金 口座番号: 5552598

### 4. インターネットよりクレジットカードで振り込み

光の子どもたちの会ホームページ

([http://criancasdeluz.org/inicial/index\\_jp.html](http://criancasdeluz.org/inicial/index_jp.html))より、  
お振込みいただけます。

お問い合わせ先: 代表 鈴木真由美、日本事務局長 堀池眞輔

〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 1-7-1 TEL/FAX 045-321-1824 [info@criancasdeluz.org](mailto:info@criancasdeluz.org)

フェイスブック「光の子どもたちの会」 ホームページ: <http://criancasdeluz.org>

# カノアニュース\*Novidade em Canoa

## 子育て支援講座、実施中！



これまでも事業の一環として、保育園や学童教室に通う子どもたちの家族を中心に、地域住民たちに対する「子育て支援講座」を実施してきました。乳幼児の発達、遊びの重要性、安全な環境とは何か、環境教育、栄養改善講座など、あげればきりが無いほど、たくさんの講座を開催し、多くの講師の方にも協力していただきました。

特に大切なテーマについては毎年必ず行い、少しでも子どものことを考えるきっかけにもらえるようにと、努めてきました。そして今年は、それに加えて“手仕事”も行うようになりました。

フェスタ・ジュニーナのお祭りを楽しむ子どもたち



6月。フェスタ・ジュニーナ(6月のお祭り)の季節です。保護者の皆さんを中心とした地域住民の方たちと、装飾を作ったり、手作りランプを製作したりしています。保護者や地域の方たちと信頼関係を築いていく一番の近道。それがこの、「子育て支援講座」ではないか。と、最近スタッフの皆と話しています。友達の家にお茶を飲みに行くような感覚で、講座を聞き、手仕事をする。その中で子どものことを相談したり、みんなと意見を交換したりする。そんな空間。これからも大切にしていきたいですね。